

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

1. 実施期間 平成24年9月18日から平成24年10月17日
2. 意見提出結果 12人24件（E-mail:4人／持参：2人／ファクシミリ：4人／郵送：2人）
3. 意見内容 下記のとおり

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
1	5 各施設の整備及び管理・運営等の方針 重点サービス (1) 健康支援・子育て支援サービス (11 ページ)	子育て支援の一部に高齢者も参加（入れる）できる要素を入れて下さい。…3世代交流の場として活性化したい。	本事業のコンセプトにありますとおり、多世代にわたる人々が集い、交流する「交わり」を導入機能の3本柱の一つに位置づけており、子供から高齢者までの多世代にわたる市民が集い、にぎわう機能の導入に努めてまいります。図書情報館の重点サービスの一つとして考えています「健康支援・子育て支援サービス」についても、高齢者等の居場所づくりや世代間の交流に配慮した施設整備を進めてまいります。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
2	5 各施設の整備及び管理・運営等の方針 重点サービス (2) ビジネス利用支援サービス (11 ページ)	安城市新図書館基本計画（案）へのパブコメにありましたが、中心市街地のプロジェクトゆえか、商業に焦点が当てられ過ぎていると感じられてなりません。そこで、安城のルーツである第一次産業の「農業」を軸として、もしくは両輪の一つとして、商工業とともに焦点を当てた方がよくはないかと思えます。 新美南吉に似合うのは、商工業よりも農業、緑であり自然ではないかと考えます。	重点サービスの一つとして位置づけました「ビジネス利用支援」は、商業だけの支援としては捉えていません。農業や工業も含めたすべての産業の発展と市民の就労、起業を支援するため、商工会議所や農協、企業、学校などの関係機関と連携を取り、また、市民ボランティアのお力も借りて進めたいと思えます。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
3	5 各施設の整備及び管理・運営等の方針 ② にぎわいと交流の場を創造する「滞在型情報拠点」 (12 ページ)	ここでは「高齢者等の居場所づくり」という表現になっています。確かに高齢者の居場所づくりは大切ですが、子どもから高齢者まで、というように全世代に焦点をあわせた方が、より広く市民に受け入れられるのではないかと、思いました。「子どもと高齢者の世代間交流を深める」ことに世間の目が集まっていることにも留意が必要ではないかと思えます。高齢者に重点を置きすぎないでほしいと思えます。	必ずしも高齢者のみに特化した居場所を図書情報館の中に整備するつもりはありませんが、「高齢者等の居場所づくり」との表現では、確かに高齢者に重点を置いている印象が否めませんので、 <u>文章表現を『高齢者等の居場所づくりや世代間の交流にも配慮した・・・』との表現に改めます。</u>	ご指摘の件に関連する部分については、左記の市の考え方にに基づき、計画の内容を修正させていただきます。 (12 ページ)
4	5 各施設の整備及び管理・運営等の方針 「実現の可能性を検討する機能」 (14 ページ)	「学校図書館とのネットワークの構築」などを検討対象にしたらどうでしょうか。当市では、小・中学校に学校図書館は設置されているものの、それぞれが孤立した状態にあると思えます。あすを担う小・中学生のために、学校図書館の整備水準の向上は焦眉の急でしょう。近隣市が整備したから、当市も整備するということでは遅すぎると思えます。いずれは整備し充実させなければならぬのなら、今から目標を定めて実行に移してほしいと考えています。	現在、安城市では第2次子ども読書活動推進計画の中で、「専任の学校司書配置の検討」をしています。また、本計画17ページの機能イメージ図の中にも「学校図書館支援スペース」と表記して、図書情報館の中にその機能を盛り込む計画ですので、ご意見のとおり、 <u>「実現の可能性を検討する機能」に『学校図書館とのネットワークを構築して連携を強化します』という項目を追加します。</u>	ご指摘の件に関連する部分については、左記の市の考え方にに基づき、計画の内容を修正させていただきます。 (14 ページ)

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
5	5 各施設の整備及び管理・運営等の方針（イ） 運営手法（18 ページ）	<p>平成22年12月28日付、総務省の「指定管理者制度の運用について」にて示唆され、翌1月5日付の片山総務大臣（鳥取県知事時代に図書館の改革、充実を行い、全国の模範に）の記者会見で、ご自身の見解を述べておられる内容から推測可能なように、『指定管理者制度は図書館にはなじまない』ということは、日本中にあまねく知られているようです。</p> <p>現在、この制度を採用している公立図書館は県内にもあるようですが、おそらく、真に優れた図書館は指定管理者制度を採用していないでしょう。もしも当市で採用するならば、現行のサービス水準が高いだけに、逆に、その良さが損なわれる可能性が高いと考えております。</p> <p>行政として指定管理者制度が気になるようでしたら、新しい目、民間の知恵、コスト意識などを、直営として、常に念頭に置けばよいのではないのでしょうか。ただ、それでもオープン5年後に指定管理者制度の導入可否を再検討したいということであれば、広く候補者から本事業計画についての意見を聞くなどして、民間の知恵とコスト意識を、今の時点から学ぶべきではないかと考えますので、意見聴取をして参考にし、さらに本計画をブラッシュアップしていただくことを希望します。</p>	<p>図書館の評価は、施設（ハード面）だけで決まらず、蔵書構成やサービス内容（ソフト面）が重要です。そこには、利用者と資料を結びつける「職員」の存在が欠かせません。図書館運営については、事業計画において、「図書情報館オープン5年経過後に、指定管理者制度の導入可否を再度検討する。」としていますが、図書館サービスの継続性の確保と、他の図書館や関係機関との連携を進め、市民ボランティアとの協働を推進しながら、常に市民ニーズを把握した効率的な図書情報館の運営に努め、投資効果がすべての市民の皆様にフィードバックされる施設を目指したいと考えます。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
6	<p>5 各施設の整備及び管理・運営等の方針</p> <p>(2) 民間施設の整備及び管理・運営 (20 ページ)</p>	<p>はじめてメールします。名古屋から引っ越し、安城に住み始めて5年ほど経過しました。とても住みやすく気に入っています。</p> <p>ひとつだけ気になることがあります。それは、安城には、ちょっとしたこだわり商品を購入できるお店（いわゆる高級スーパー）がありません。</p> <p>安城以外の東京、刈谷、名古屋などの市街地からの転入者が増えていることを思うと、こういった高級スーパーを中心に配置すると集客が期待できます。</p> <p>こういった高級スーパーの並びに地元の商店も配置すれば、お互い活性化できると思います。</p> <p>安城はとても生活に余裕のある感じがすることと、市外からの転入者が多いことを思うと、こういった店舗がなじむと思うのですが。</p> <p>こういった生活にスパイスになるようなお店があったらなあといつもご近所のママ友達と会話しています。また、私のまわりの多くは、日常の食料品でも碧南まで買い物にしています。</p> <p>中途半端なものより徹底したこだわりの店舗の方が幅広い年齢層に根強い人気があるように思います。</p> <p>ぜひご検討ください。</p>	<p>民間施設における商業施設につきましては、周辺住民の生活利便性の向上が図られることを期待しているところです。過去に事業者へヒアリング調査等を実施したところ、スーパー等の物販の出店は、可能性が高いと判断しています。民間事業者からの提案を待つ状況ではありますが、業種に限らず地域のニーズに合致し、魅力的で”にぎわい創出”に寄与する施設を期待しています。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
7	<p>5 各施設の整備及び管理・運営等の方針</p> <p>② 駐車場・駐輪場 (21 ページ)</p>	<p>自動車の駐車台数が過大ではないかと思われる。基本的には商用車や障害者用の必要最小限の台数とすべきではないか。</p> <p>事業計画地の200メートル範囲内には現在でも相当数の駐車空間が確保されており、法令上の付置義務台数は、特例措置なども適用すれば、満たすことができるのではないかと。新たに200台以上もの自動車駐車施設を設ける根拠が明確でない。貴重な中心市街地の用地はもっと有効（施設設置のみに限らず緑地等）に使うべきではないか。</p> <p>今回新たに200台+αの駐車台数を確保すれば、いくら車両の動線を南明1号線（20mもの幅員の車道を設置すること自体も疑問であるが）に集中させるとしても安城駅前一带に自動車を今以上に引き込むことになり、計画のコンセプトと矛盾するのではないかと。</p> <p>自動車の利便性を優先させた街は、歩行者、車いすや自転車にとっては障害の多い街となり、寂れていくという現実の認識が欠如しているような気がする。このことは詳細な検証・分析をすれば明らかである。</p> <p>今回の整備事業のコンセプトは、駅前全体の賑わい創出、安全、環境、健康、ユニバーサルなどのはずであり、計画案の中にも随所に言葉が出てくる。クルマの野放図な利用や既得権益をそのままにし、安易にクルマ優先の従来型の街づくりを進めていくのは、真に暮らしやすい街になかなかならない。言葉だけではない名実ともに環境首都、安全・安心な街にするには、十分な調査・学習と大胆な発想の転換が必要であるとともに、強い意志と決断が不可欠である。国内外の都市の例を参考にしつつ再考していただきたい。</p>	<p>本事業用地周辺は、駅に近接した中心市街地であり、車以外にもバス・電車等の公共交通機関や、自転車、徒歩での利用が選択できる立地にありますので、他の交通手段への転換促進など総合的な取組が必要と考えます。駐車場については、周囲に他の公共施設や市営の駐車場もありますので、駅前全体で駐車場の対応を図り、施設内の駐車場をできるだけ削減したいと考えますが、魅力ある施設を整備するほど、相当数の利用者増加が見込まれるため、現中央図書館の駐車場が約170台分であることを考慮し、同等以上の台数として約200台を施設内で確保する計画としています。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
8	5 各施設の整備及び管理・運営等の方針 ② 駐車場・駐輪場 (21 ページ)	駐車場管理は必要と思います。	施設内に整備する駐車場につきましては有料駐車場とし、施設利用者には例えば1～2時間を無料にする等の運用を考えております。また、駐車場は民間事業者により整備運営する計画であり、民間ノウハウの活用が期待されます。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
9	7 事業手法 (ア) 初期投資に関する費用 (32 ページ)	総額49億円の内容が全く見えない。これは事業計画案とはいえない。収益効果についてもほとんど記載説明なし。(私見ではこの計画なら間違いなく100億円近くいく)	初期投資に関する費用の約49億円の内容は、事業計画（案）の記載のとおり、情報拠点施設及び広場・公園の整備等に要する費用であり、駐車場負担額や消費税等を含んでいません。この試算額は、現時点で想定される施設プランを基に算定した、公設公営（従来）方式における建設費相当の見込み額であり、長期にわたる運営費や維持管理費を見込んでいるものではありません。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
10	7 事業手法 (イ) 事業期間中における本市の財政負担の比較 (32 ページ)	P F I 方式 (1) なぜ、従来方式に比べP F I 方式（一括払い）の市財政負担が92.5%になるのか？単純に考えれば業者の利益分が増え100%を超えるはず。 (2) なによりも市が詳細な仕様書を作らなければ、H26年度完成はどんどん先に延びてゆくことが、予想される。「ガンバレ神谷市長！！」	P F I 方式では、設計、施工から維持管理にわたり、性能発注により包括的に事業を民間へ委ねます。この場合、民間の技術力やノウハウが積極的に取り入れられることにより、コスト削減やサービス水準の向上等効率的な事業の実施が期待できるメリットがあります。本事業の場合、モデルプランの試算結果から、従来方式に比べてP F I 一括払い方式では、事業費全体の現在価値で約7.5%程度の縮減効果が期待できると判断しています。 性能発注の場合、市は仕様を作成するものではなく、民間に事業を委ねる条件を要求水準により必要とする施設の性能やサー	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
			<p>ビスの水準等を設定してまいります。要求水準に基づく施設整備やサービス内容について、民間のノウハウや技術力を生かして効率的に行うことを民間事業者に求めてまいります。なお、事業計画（案）に示したスケジュールのように、今後民間事業者の募集選定、設計、建設を進め、平成29年度に施設の利用開始ができるようにがんばってまいります。</p>	
11	<p>7 事業手法 (5) 総合評価及び本事業での方向性 (33 ページ)</p>	<p>中央図書館の新設については以前より神谷市長より、その方針として伺っております。しかし、その建設の手法とするPFI事業だけは避けて頂きたくお願い申し上げます。PFI事業による建設となりますと、大手ゼネコンの受注となり地元業者には何のメリットもございません。この事業は近隣各市のPFI事業による施設建物等の実態を見る限り明らかであります。地元業者の発展なくして安城市の健全な財政はあり得ません。PFI事業について再度検討下さるよう切にお願いするものでございます。</p>	<p>本事業は、通常の公共施設を整備するのみではなく民間施設の一体整備により、にぎわいを創出するような集客施設を目指し、建設工事のみではなく、設計や維持管理等幅広く民間事業者へ委ね、サービスの向上と効率的な財政負担の両立が図られる事業方式としてPFI方式を採用する判断をしています。また、国の施策におきましても、積極的にPFI事業を推進する方針を打ち出しているところです。</p> <p>PFI事業では、関係する複数の業務を包括的に長期契約することから、各業務間の区切りから生じる無駄の排除や長期的な視野からの創意工夫が可能となり、その結果として、コスト削減やサービス水準の向上が見込まれます。一般的に複数の業務が含まれるため、建設業者1社が請け負う例は少なく、ほとんどの事業において、複数の企業がグループを組成し、PFI事業を</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
			<p>実施するための会社を設立して行われています。そこから、業務に関係する多くの業種が係わる機会が生じることになります。また、本事業では定期借地を活用した民間施設の導入も想定しているため、関連する業種はさらに広がり、地元業者の参画につながるものと考えます。</p> <p>より地域とのつながりを深める上で、事業者の選定におきましては、地元への貢献について提案を求めるなど検討してまいります。</p>	
12	<p>7 事業手法 (5) 総合評価及び本事業での方向性 (33 ページ)</p>	<p>安城市におかれましては日々地元業者育成のために、大変なご尽力をいただき感謝しております。</p> <p>さて、表題に対する意見書ですが、各市の実態を見て、もう一度検討していただきたく願申しあげます。</p> <p>P F I 事業は大手ゼネコン主体となり地元業者の参加はもちろん、各下請業者等への発注金額も通常では考えられないもので、とても受注できる価格ではありません。この価格では品質等の維持は到底難しくなり、重大な問題にもつながります。また、P F I 事業は現在、財政困難な自治体が早く事業を進めるために高い利息を支払い民間企業から借金をしている状態です。これは、後世に借金の返済を回すということになります。安城市のような健全財政を保ってられる自治体の行なうべき事業ではないと思われまます。</p> <p>現在このような経済情勢の中で建築業者は1年1年生き残りをかけて必死に企業運営をしている中、安城市の数年来のメイン事業であった更生病院跡地事業にかける期待を非常に高く持っておりました。それがこのような形となってしまっは非常に残念であります。安城</p>	11と同じ	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
		<p>市における最大事業で地元企業が参加できないどころか、参加すれば企業経営の危機に立つ可能性があるという大きな矛盾が生じてきます。地元業者の健全発展と安城市の健全財政の維持・アピールのため、それ以上に後世への負担軽減のためにも、P F I 事業について今一度検討していただけますようお願い申し上げます。</p>		
13	<p>7 事業手法 (5) 総合評価及び本事業での方向性 (33 ページ)</p>	<p>更生病院の跡地利用につきまして10年にわたる議論がなされ、ほぼ集約され、この度早期着工されることとなりました。関係各位のご尽力に敬意を表します。</p> <p>しかしながら、計画する建物の建設にP F I 方式を採用されるとのことです。この方式は大手企業の一括請負であり、地元の事業者には何らメリットはありません。</p> <p>市内事業者の育成と地域の活性化を望んでみえるならば、出来る限り地元である市内業者に直接発注して頂きますよう要望致します。</p>	11と同じ	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>
14	<p>7 事業手法 (5) 総合評価及び本事業での方向性 (33 ページ)</p>	<p>P F I の良い点ばかりをPRして、ネガティブな部分に触れていないのでは・・・。良い点ばかりではないはず。市民及び市内に多数存在する業者を「無視」してP F I 事業を推し進めた場合、「市民不在」の行政、図書館といえる建物ができてしまうのでは。市民一体となって更生病院の跡地に建てる施設を盛り上げることも市の仕事では。</p>	<p>P F I 事業では、一般的に複数の業務が含まれるため、1社が請け負う例は少なく、ほとんどの事業において、複数の企業がグループを組成し、P F I 事業を実施するための会社を設立して行われています。そこから、業務に関係する多くの業種が係わる機会が生じることになります。また、本事業では定期借地を活用した民間施設の導入も想定しているため、関連する業種はさらに広がり、地元業者の参画につながるものと考えます。</p> <p>本事業における事業者の選定におきましては、地元への貢献について提案を求めるなど検討してまいります。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
15	8 事業スケジュール (34 ページ)	H27以降の着工とみえますが過去の経過から（トップ方針）H26年度末でよいから何らかの工事着工を求めたい。	現時点におきましては、本事業は平成26年度末の着工を目指して進めております。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
16	施設全体の緑化について	せっかく緑化計画案があるのなら、愛知県内、若しくは全国の植物を植えてはいかがでしょうか。条件は外来種ではなく、日本在来の植物だと言う事です。折角人が集まる場所ができ、学びの場でもあるのですから、このようなスペースを作り、知ってもらいたい良い機会だと思います。 屋上にも一部でも良いので、緑を入れるのも一つの案かと思えます。緑がある場所があれば、必ず人は集まり、より活気のある場所になると思います。	緑化につきましては、広場、公園、建物に付随する中庭やテラス等で主に施してまいります。特に公園部分におきましては、自然を感じる空間を創出する計画としています。植栽は、それぞれの場所に見合った樹種や量が望ましいと考えますが、ご意見のとおり、日本の在来種の樹種も十分考慮して選定してまいります。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
17	事業のPR方法	全体として、まとまっていて良い…が強調点（目玉）としての表現が弱い。 (今回の図書館は日本一、こんなICTを駆使した〇〇〇〇〇〇図書館ですよ！！といえる)サブタイトルとなるものが欲しい。	図書館のコンセプトとしては、『最新の情報通信技術（ICT）を駆使して、市民生活に密着した新たなサービスを提供し、にぎわいと交流の場を創造する滞在型情報拠点』を目指してまいります。ご提案のサブタイトルや愛称につきましては、今後、公募を含めて検討してまいります。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
18	他市との連携（図書館）	5市と協力し、本の管理体制システム検討を希望します。	いわゆる碧海5市のみによる蔵書管理体制の構築は現在考えていませんが、愛知県図書館を中心に県下の主要公立図書館が参加して、「ラストワンプロジェクト」という最後の1冊を持ち寄る制度が今後始まりますので、県下全体で効率的な蔵書管理体制を整備していきたいと考えます。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
19	事業全般について	<p>市役所職員がリストラや給与カットに結（び）付かぬよう効率の良い「建設して良かった」と思うような図書館になる様、お願い申し上げます。立派な市長様ですので、色々と考えた上での決断と思います。金額に見合う効果が出る様、重ねてお願い申し上げます。</p>	<p>図書館の評価は、施設（ハード面）だけで決まらず、蔵書構成やサービス内容（ソフト面）が重要です。そこには、利用者と資料を結びつける「職員」の存在が欠かせません。図書館運営については、事業計画において、「図書情報館オープン5年経過後に、指定管理者制度の導入可否を再度検討する。」としていますが、図書館サービスの継続性の確保と、他の図書館や関係機関との連携を進め、市民ボランティアとの協働を推進しながら、常に市民ニーズを把握した効率的な図書情報館の運営に努め、投資効果がすべての市民の皆様にフィードバックされる施設を目指したいと考えます。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>
20	事業全般について	<p>市民のための事業として、コンセプト、考え方、コストなど、全般については、外部の知恵、市議会の知恵なども参考にしておられるらしく、そつなく、よくまとめられており、特段の異議は感じられませんでした。</p> <p>現在の当市図書館サービスですら、当市より蔵書数の多い近隣他市の水準よりも高いと思いますから、このレベルを保って、さらに向上に努めていただきたいと思いません。</p> <p>（たとえば、新刊本の「帯」を見返しに貼って、内容把握を容易にさせてくれる配慮などは、近隣では、豊田、岡崎、刈谷という比較的大きな図書館には見られない。碧海5市のうち、安城、碧南は原則貼り付け、知立、高浜はすべてではないが貼り付けして配慮）</p> <p>ただ、安城市新図書館基本計画（案）へのパブコメにもあったと同じく、日本のどこにでもある図書館の一つ、事業の一つ、という内容であり、どこの公立図書館、</p>	<p>現在の安城市の図書館サービスの水準は一定のレベルにあると考えていますが、今後、図書情報館がオープンしましてもその水準をさらに高められるよう各種図書館サービスの充実に努めたいと思います。それが、街のにぎわいの創出や市民の文化教養の向上につながり、安城市の発展に貢献できるものと確信しています。</p> <p>「南吉」については、図書情報館を含めた情報拠点施設の中に、コーナーやスペースを設けるなどして、「安城の事業」としての一貫性を図ってまいります。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
		<p>民間施設にも当てはまる標準的な内容と感じました。</p> <p>そこで、一本、筋が通った「安城の事業」と言えるコンセプトが必要でないかと思えます。それは例えば「南吉」ではないかと思いました。「南吉」をメインストリームにして、事業の一貫性を図ることも検討してほしいと思えます。（例：図書情報館に導く建物の外壁、情報館の内外装・部屋、内部コンテンツ等の流れ）</p>		
21	事業全般について	<p>事業計画の推進にあたっては、『市民が気持ちよく利用できる』図書情報館、民間施設にする決意を表明したらどうでしょうか。</p> <p>残念なことですが、どこの図書館でも、過失であれ、意識してであれ、長期未返却、汚損（液体汚れ、切り取り、線引き）などの行為は行われていると聞きます。新しい事業施設において、これらの行為、類似の行為がゼロである状態を達成することは、市民全員が気持ちよく利用できる環境を達成することにもなります。数値では表現しにくいですが、日本中のどこにも負けない事業を達成した、ということになると考えます。これは、当市が目指すべき中心市街地事業の一つの姿ではないでしょうか。</p>	<p>公共施設を市民が気持ちよく利用できるようにすることは、図書館に限ったことではありませんが、貸出期限の延滞、注意不足による資料の汚損・破損などが後を絶たないのが現実です。今後も、ごく限られた一部の利用者の不注意等で多くの市民や利用者が迷惑を被ることがなくなるよう全職員が一丸となってサービスと満足度の向上に努めてまいります。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
22	事業全般について	<p>市の中心に「図書館」を中心とした建物を造ることは反対。インターネットやパソコン、モバイル端末や無線LAN環境の爆発的普及状況により、10年後の「本」に対する価値や意義も著しく変化すると思われる。そのような不確定な将来像が判っている今、「図書館」を中心とした建物を市が造る理由が分かりません。</p> <p>図書館が市のメインというか、シンボルっていいと思います。あの場所に子供の図書館を望んでいるのか？あの場所に市民は図書館を望んでいるのか？</p>	<p>情報通信技術（ICT）の進展や電子書籍の普及によって、図書館を取り巻く環境は大きく変化することが予想されることから、電子書籍が普及しているアメリカの現状を確認しましたが、紙の資料がなくなったり、全てが電子化されたりしていません。したがって、現時点で図書館の存在意義が薄れたりなくなったりすることはないものと考えます。逆に、膨大な情報を整理したり、取捨選択したりするために、図書情報館（専門性の高い職員）の存在意義が高まるものと考え、時代を先取りした「図書と情報の拠点」として整備したいと考えています。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>
23	事業全般について	<p>「図書館」ありきで考えるべきでない。</p> <p>「農都安城の復活」</p> <p>電子書籍化の流れは、あっという間に進む。蔵書の増加は旧本のマイクロフィルム化、廃却本のサイクル短縮で対策し中央図書館の運営見直しで充分対処可能。</p>	<p>更生病院跡地への中央図書館機能の移転は、市民の皆様を含めた様々な議論を踏まえての結論であり、決して「図書館ありき」ではありません。中心市街地の賑わい創出と現図書館の抱える課題を解決し、更なる安城市の発展と市民サービスの向上のためのものであるとご理解をお願いいたします。</p> <p>情報通信技術（ICT）の進展や電子書籍の普及によって、図書館を取り巻く環境は大きく変化することが予想されますが、今後も紙の資料がなくなることはありませんし、すべてが電子化されるわけでもあり</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
			<p>ません。したがって、現時点で図書館の存在意義が薄れたりなくなったりすることはないものと考えます。逆に、膨大な情報を整理したり、取捨選択したりするために、図書情報館（専門性の高い職員）の存在意義が高まるものと考え、時代を先取りした「図書と情報の拠点」として整備したいと考えています。</p>	
24	事業全般について	<p>第一回の説明会での市民の意見は、概ね賛成とのことですが、図書館の機能と複合施設の民間との協働の中での従来の商店との融合については、関心が薄かったように、感じます。ぜひ、活性化のために取り入れて貰いたいのは、ピッチFMの地域放送の図書館内で発信基地を開局し、店内の案内、周辺の商店の案内などの、放送により市民の放送に参加する展開もあれば充実し、週末の利用者の方々とのミニコンサート・子供さんのピアノ発表会・ダンスオンダンスなどなど次から次へとイベントすることで、利用の頻度を高めれば、以前以上の活気のある街に変貌すると考えます。</p> <p>残念なのが、安城市としてピッチFMに出資していないことです。年間のイベントに市として、支援ができるのかで、大きく差になります。図書館の拠点にさまざまなものが融合する、発信局の役割が、周辺の隣接市に刺激を与えられると思います。</p> <p>また、災害の情報局のセンターピンになれば、一般のリスナーからの情報の集約が計れて、市民の欲しい情報が得られるのです。</p> <p>「車で走っていたら地震で、目の前の家が倒れて・・・」のツイートが局に入る。市民からのさまざまなツイートを行政の担当部署の分室も図書館に設置し、対策本部の</p>	<p>拠点施設の整備だけで周辺地域にまで賑わいが広がることは難しく、個々の商店の特長を活かした工夫や、まち全体の魅力を向上させる取り組みを一体となって進める必要があります。拠点施設からの情報発信や各種イベントの開催など、周辺との連携を深め、地域が拠点施設に関わりを持つ仕組みを築けるようにしていきたいと思います。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>

中心市街地拠点整備事業計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果とその対応について

No.	該当箇所	意見内容	市の考え方	事業計画への反映
		<p>立ち上げも、この分室にて行えば、情報の共有が出来て、人命の救助に迅速な対応ができると思います。平時の放送局のあり方と、緊急時の放送局のあり方をそれぞれに活用することで、より住民サービスを充実する事ができるのです。「市民の疑問に答えます。本日のゲストは、安城市長の神谷学市長です。」「オリンピックのゴールドメダリストの谷本歩美さんをゲストに、子どもの時の経験を伺います。」など様々なジャンルの安城市の関係する人から、話題のかずかずにスポットを当てて、行政のしくみを子ども目線でトークする。</p> <p>考えれば、キリがないことがつぎつぎに連想し、魅力がまして行くのです。企業の出資と自治体が出資で放送局の厚みも増すのです。個々の企業からのスポンサー収入も増えると思います。</p> <p>せっかくの図書館の建設です。あらゆる可能性に希望と期待を持って、情熱を注ぐことで、変貌する安城市が見てみたいです</p>		